

未来戦略（案）目次		頂いたご意見の趣旨	ご意見に対する考え方
Ⅱ（奈良県のこども・子育てに関する現状）に対するご意見【8件】	2．少子化の要因【1件】	・昔と比べて老後に対する不安が大きいことが課題で、そのような状況下でこどもを産めと言われても子育ての大変さと比べて割に合わないと思う。【1件】	ご意見として賜ります。 なお、本戦略において、結婚、妊娠、出産、子育ては個人の自由な意思決定に基づくものであり、特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりすることは決してあってはならないとしています。
	3．こども・子育てを取り巻く現状【7件】	・(3)①「いずれ結婚するつもり」と回答した方の数値が下記データと一致していない。【1件】 ・育児にかかる時間の年代別調査やこどもの健康・体力等の就学前の調査、非正規雇用率の上昇に伴う収入の推移は無いか。【3件】 ・男性の家事関連時間が全国12位とあるが、家事以外の時間に何をしているのか書いて欲しい。【1件】 ・「結婚経験のない20～39歳…」とあるが、16歳や18歳からでも良いのではないか。【1件】 ・「理想的な初婚年齢」ではなく「数が多かった初婚年齢」が良いのではないか。【1件】	(3)①の文中2行目の「男性が79.7%、女性が85.3%」から「男性が76.8%、女性が84.1%」に修正しました。 ご指摘いただいたデータ等については、本県の現状をあらわす材料として今後検討させていただきます。
Ⅲ（奈良県のこども・子育てに関する課題）に対するご意見【4件】	2．克服すべき課題【4件】	・様々な立場のこどもたちがいることを理解するため、障害の有無や居住地や在日外国人等に関わらないこと標記した方が良いと思う。【1件】 ・「男性が家事・育児を主体的に実施することは、子育てに対する負担軽減につながる」とあるが、家事・育児を夫婦のどちらがやるかではなく、負担の総量を減らさなければ負担軽減にならないのではないか。【1件】 ・「奈良県は固定的性別役割分担意識が全国的に見ても根強く、母親に子育ての負担が大きくなっています。また、社会全体でこどもや子育てを見守り、支える意識が希薄になっています。」とあるが、核家族を選んだのは当事者であり、県民の価値観を変えさせようとするのは危険だと思う。【1件】 ・子育て世代向けの住宅取得支援施策を検討して欲しい。【1件】	ご意見として賜ります。
Ⅴ（基本的な方向性）に対するご意見【3件】	1．基本的な方向性【2件】	・人と人が生きていく上で、必要かつ重要な権利を理解してもらいたいので、1．(1)「…個性を十分に尊重し、尊厳を重んじ、その有する権利を…」→「…個性を十分に尊重し、人としての尊厳を重んじ、その有する権利（人権）を保障…」と表記した方が良いと思う。【1件】 ・こどもの意見を聞くというパフォーマンスをせずに、インフラ整備などに予算を割いて欲しい。【1件】	「こども大綱（令和5年12月22日、こども家庭庁）」に則った記載としています。
	2．方向性の考え方【1件】	・(3)「こども・若者の個性に応じた可能性を広げていくことが重要であり、固定的性別役割分担意識を植え付けないように配慮します」等の記載にはいかがでしょうか。【1件】	上段部分に固定的な性別役割分担意識や特定の価値観を押し付けられることのない旨を表記しています。
Ⅵ（取組方針）に対するご意見【6件】	(2) ジェンダーギャップの解消を始めとした社会全体の意識・構造の改革【1件】	・「女子大」や「リケジョ」といった優遇措置により、性差別を受けているのは若年男性だと思う。【1件】	ご意見として賜ります。
	(3) 若い世代、ひとり親世帯の所得の向上【1件】	・若い世代だけを位置づけるのではなく、全世代の所得の底上げと、それぞれのこどもの年齢に合った経済的支援が必要なのではないか。【1件】	ご意見として賜ります。

未来戦略（案）目次		頂いたご意見の趣旨	ご意見に対する考え方
	（４）男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる職場環境の整備【1件】	・奈良県の固定的性別役割分担意識が高いのであれば、専業主婦が暮らしやすいまちづくりをして、強みを伸ばすべきだと思う。【1件】	ご意見として賜ります。
	（５）個人の希望に応じた選択ができるよう、結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目の無い支援の充実【2件】	・より具体的に、「…結婚から妊娠、出産、子育て、…」を「…進学や就労、結婚から妊娠、出産や子育て、そして介護まで…」と表記したほうが良いと思う。【1件】 ・「未来に対する投資（こどもを増やすこと）」と「現在に対する投資（ひとり親へのセーフティネットの拡充）」を二者択一の関係として扱わず、同時に行うことが重要だと思う。【1件】	「こども大綱（令和5年12月22日、こども家庭庁）」に則った記載としています。 ほか、施策検討の参考とさせていただきます。
	（７）こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備【1件】	・教育、保育の体制整備とは具体的に何か。【1件】	P67以降に記載のとおり、保育人材の確保や定着支援、教員の働き方改革等について積極的に取り組みます。
VII（取組方針に基づく主な施策）に対するご意見【93件】	1. こども・若者の視点に立った施策の立案と推進【4件】	・こどもの権利に関して、「アドボカシー」という文言を入れるべきだと思う。【1件】 ・こどもの意見をきくことは政治家の仕事だと思う。【1件】 ・こどもの意見を聞くことは良いことだと思うので、XなどのSNSの投票機能を使って意見を聞いたりして欲しい。【1件】 ・こども・若者の政策決定過程への参画を促進するには、高齢者の選挙権をなくすのがいいと思う。【1件】	こども・若者が、自らのことについて意見を形成し、その意見を表明することや、社会に参画することが、社会への影響力を発揮することにつながります。 また、おとなは、こども・若者の最善の利益を実現する観点から、こども・若者の意見を年齢や発達の数値に応じて尊重することとされています。これらは、こども基本法の理念の一部として規定されています。 頂いたご意見を参考に、こども基本法の理念に基づき、こども・若者の意見を聴取し、施策に反映されるよう取り組みます。

未来戦略（案） 目次		頂いたご意見の趣旨	ご意見に対する考え方
	2. ジェンダーギャップの解消を始めとした社会全体の意識・構造の改革【22件】	・性的マイノリティという言葉と共に、LGBTQ+という表記を併記して欲しい。【1件】 ・「困難な問題を抱える女性への支援の推進」という書き方は、「再教育」という表現にすべき。【1件】 ・奈良県だけでも、企業ごとの男女の賃金差の公表の対象企業を広げて欲しい。【1件】 ・LGBTQ+に関する、教科書に書かれていないことをどう教えるのか、具体的に記述して欲しい。【1件】 ・やさしい版でもLGBTQ+のこどもや若者がいることや、差別をしないこと、相談や支援などが出来ることを表記してほしい。【1件】 ・生まれも育ちも変えられないが、男又は女であることに疑問を持たなくて良い社会になって欲しい【1件】 ・男性、女性、男女などの表現は身体の仕組みや生殖機能の有無、社会的役割などを伴う意味合いが強く、多用すると性別役割分担をこどもに植え付けることになるので、良くないと思う。これからの世代を生きるこども・若者には、様々な価値観や生き方等を考えて欲しい【1件】 ・ジェンダーギャップをなくす取組について反対であり、男女それぞれの良さを教えることは大切だと思う。【2件】 ・女性が虐げられていることを前提とした内容に反対である。【1件】 ・男性差別の解消を目指すことを明記すべき。【1件】 ・遺族年金の受給要件には男女差があり、女性差別であると思う。【1件】 ・ジェンダーギャップによって、女性がどういう不利益や不幸になっているのかを調査し、結果を記載すべき。【1件】 ・「ジェンダーギャップの解消」ではなく、「個性の尊重」で良いと思う。【1件】 ・男女の違いをどうしたいのかが良くわからない。【1件】 ・ジェンダーギャップの解消について、県民がどれだけ求めているのか調査をするべき。【1件】 ・若年層の出産・育児をポジティブに捉えるための意識改革や、若い世代、ひとり親世帯の所得の向上等、少子化対策と子育て支援の抜本的見直しが必要だと思う。【1件】 ・奈良県で子育て応援をしている会社のロゴや名称等を県HPに掲載したり、チラシを作るべき。【1件】 ・困難な状況にある男性もいるので、「困難な問題を抱える女性への支援」があるのは不自然であり、削除すべき。【1件】 ・未婚女性への施策が無いのでを充実させて欲しい。【1件】 ・こども向けに、困難な状況とは何かを説明すべき。【1件】 ・女性向け商品の粗悪品の取締が男性向けと比べてとても遅いので、早く取り締まるようにして欲しい。【1件】	性のありようが様々であることを表現するため、「性的マイノリティ（LGBTQ+）」を追記しました。 こども・若者が、多様な価値観に出会い、相互に人格と個性を尊重し合いながら、その多様性が尊重され、尊厳が重んぜられ、固定的な性別役割分担意識や特定の価値観、プレッシャーを押しつけられることなく、主体的に自分らしく、幸福に暮らすことができるように支えることが重要です。 また、本県は固定的性別役割分担意識が全国的に見ても根強く、女性の家事・育児に要する時間が全国で最長となっており、母親に子育ての負担が大きくかかっていることを変える必要があります。 頂いたご意見を参考に、社会全体でこどもや子育てを見守り、支える意識を高め、社会全体の構造を変えていくよう取り組みます。

未来戦略（案） 目次		頂いたご意見の趣旨	ご意見に対する考え方
	3. 若い世代、ひとり親世帯への就労支援・所得の向上【7件】	・県民の理解のもと、手厚い財政支援によって、「ひとり親が住むなら奈良県」を目指しても良いのではないかと。【1件】 ・若手起業家等の育成について、起業できるための金銭的支援や起業するための支援はあるのか。【1件】 ・所得を向上させる方法に正社員の就労支援などが書かれているが、最低賃金を上げるなどして非正規雇用の所得の引き上げを行ってほしい。【1件】 ・兵庫県豊岡市のように「若者回復率」がどのくらいかを奈良県でデータをとってみてはどうか。また、女性の経済的自立を促す具体的な取組が欲しい。【1件】 ・若者が奈良県に住み続けるメリットについて書くべき。【1件】 ・最低賃金が生活保護より安いことはおかしいと思う。社会人2年目だが、税金と社会保険料が凄く引かれており、これでは結婚するお金が無い。【1件】 ・多額の高齢者の医療費や外国人への支援により、日本の税金負担が増えている。仕組みを変えないと更に増えていくと思う。【1件】	若い世代が将来にわたる生活の基盤を確保することで、将来に希望を持って生きることができる社会をつくることが、少子化克服の鍵となっています。 また、近年、若い世代が結婚やこどもを産み、育てることへの希望を持ちながらも、経済的な不安等から将来展望を描けない傾向にあります。 頂いたご意見を参考に、雇用と所得環境の安定や、ひとり親世帯への自立支援等について取り組みます。
	4. 男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる職場環境の整備【9件】	・ブランクを作らず転職したい人は多いと思うので、転職しやすくなるようなリスキリングプログラム(就労中でも参加できるようオンデマンド配信で)があるとよい。【1件】 ・30年程前と比べて、機械化や自動化が進み生産性が向上しているのに労働時間は変わっていない。男性の家事育児参加の為には、男女ともに働く時間を減らす必要がある。【1件】 ・女性管理職になりたいと思っていないのにならざるを得ない状態になっている。昇進意欲がある人を分母に置いて、管理職割合を計算すべき。【1件】 ・若い女性は、収入があり落ち着きのある年上男性を求めている。【1件】 ・女性以上に支援すべきは、氷河期で仕事がない男性なのは。子育てや家事の負担等、女性ばかりが大変だとこどもに刷り込むのはよくないと思う。【1件】 ・産休・育休・部分休業等を取得する者がいると、他の方に負担が掛かり職場の空気が悪くなる。職場へフォローや補助を行う等、行政が責任を持って制度を作って欲しい。【1件】 ・最低賃金を上げると同時に、「103万の壁」を考え直すことを厚生労働省に要望して欲しい。【1件】 ・未来戦略では使われていない「ワーク・ライフ・シナジー」「ワーク・ライフ・バランス」「心理的安全性」等は「働きがい」と関連する重要な語句だと思う。【1件】 ・駆け出しエンジニアがいきなりフリーランスとして就労するのは難しいと思うので、連携関係にある産業構造全体を導入すべきである。【1件】	本県は女性の就業率が全国で最も低く、柔軟な働き方ができる職場づくりが必要です。 頂いたご意見を参考に、固定的性別役割分担意識等を前提とした働き方や暮らし方を見直し、男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる環境づくりや、共働き、共育て、共家事を推進し、結婚や子育てに対する負担感の軽減につながるよう取り組みます。

未来戦略（案） 目次		頂いたご意見の趣旨	ご意見に対する考え方
	5. 個人の希望に応じた選択ができるよう、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の充実【11件】	・なぜ外国人に日本の税金を使って日本に馴染む為の支援が必要なのかが分からない。【1件】 ・外国人の移住定住を促進するのであれば、しっかりと日本や奈良の文化等を理解できるよう、学ぶ場を設けるべき。【1件】 ・妊娠中、書類に何度も氏名や住所を書く必要があり大変だったのでデジタル化して欲しい。また、母子手帳をアプリ化することでパートナーと情報共有出来たり、陣痛時に24時間相談できる窓口や駆け込める病院が分かるようにして欲しい。【1件】 ・各市町村で登校園管理アプリが異なっているので、データ連携やシステムを共通にして欲しい。【1件】 ・結婚で姓を変える際の手続きが手間と時間が掛かり大変なので、デジタル化してスマホで手続きが出来るようにして欲しい。【1件】 ・なぜ男女の出会いにNPO法人が必要なのかが分からない。宗教などの勧誘があったり、若者が危険に晒されるのではないか。【1件】 ・「ジェンダーギャップの解消」という曖昧な言葉ではなく、「経済的、精神的にも自立している女性を増やす」と記載すべき。【1件】 ・結婚支援の前に、若者が自由に使えるお金を増やせるよう所得の向上を図るべき。【2件】 ・結婚を希望するが、相手が居ないということはあるのだろうか。【1件】 ・結婚支援よりも子育て支援がより必要だと思う。【1件】	結婚、妊娠、出産、子育ては個人の自由な意思決定に基づくものであり、多様な価値観、考え方を尊重することを大前提とし、若い世代が自らの主体的な選択により、結婚し、子どもを産み、育てたいと望んだ場合に、それぞれの希望に応じて社会全体で若い世代を支えていくことが重要です。 頂いたご意見を参考に、こどもや若者、子育て当事者がライフステージに応じて、様々な課題に対処できるよう取り組みます。
	6. 困難な状況に置かれているこども・子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実【5件】	・高校生が出産しても学校で学び続けられたり、赤ちゃんポスト等の整備により産まれた子が健全に育つような仕組みづくりが必要では。【1件】 ・食料が足りないこどもには、団体を挟まず、行政が直接届けられるような体制を整備すべき。【1件】 ・女性から男性のDVもあるので、女性から男性へのDVも対象にすることを記載すべき。【1件】 ・不登校のこどもの支援について、県や町が管理している体育館の空いている時間帯や役場の空き部屋など、誰にも見られず知らない人は入ってこないという安心の中で体を動かせる場所を確保して欲しい。【1件】 ・不登校児の対人不安を解消するために、仮想空間にお互いのアバターで集まって遊んだり課題に取り組める仕組みがあれば良い。【1件】	貧困、虐待、いじめ等の困難な状況に置かれているこどもや若者、子育て世帯を誰一人取り残さず、その特性や支援ニーズに応じたきめ細かい支援を行うことが重要です。 頂いたご意見を参考に、こども・親の誰もが、困りごとを相談でき、支援につなげられるよう取り組みます。

未来戦略（案） 目次		頂いたご意見の趣旨	ご意見に対する考え方
	7. こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備【22件】	・P69(1)⑧目標をはっきりさせる為、「…支援していきます。」を「…支援するとともに皆保育をめざしていきます。」と表記した方が良い。【1件】 ・P71(4)⑥について、養護教諭に協力して貰う為、「…薬物乱用防止教育など…」を「…薬物乱用防止教育や性教育など…」と表記した方が良い。【1件】 ・教育・保育現場に優秀な人材が配置出来てこそ本当の子育て支援だと思うので、幼稚園教諭・保育士・学校教員の更なる処遇改善・働き方改革の推進が必要だと思う。【1件】 ・P69(2)②こどもたちが質の高い公教育を受けられるようにするための具体策として、「こどもたちが家庭の経済的状況にかかわらず、希望する進路を選択できるよう、高校授業料等の実質的な無償化に取り組みます。」を「…無償化に取り組みます。また、民族学校の授業料免除や大学奨学金の給付制度にも取り組んでいきます。」と表記した方が良い。【1件】 ・女性の経済的自立支援や待機児童をゼロにすることが急務である。【1件】 ・高校授業料の無償化に反対であり、代わりに返還不要の奨学金を多く創設すべき。中学や高校を卒業して働くことの選択肢を尊重すべき。【1件】 ・経済成長していた明治時代の頃のように、今の日本も科学技術に投資する姿勢が必要。【1件】 ・質の高い公教育の推進では、科学技術の発展に寄与したり、芸術を正しく評価できる人材を育成することが重要である。【1件】 ・こどもの体験格差を埋めるため、修学旅行や芸術鑑賞等の公教育に予算を割いて欲しい。【1件】 ・こどものstem分野（科学、技術、工学、数学）教育を強化することを記載すべき。【1件】 ・県立大学で貴重な標本が勝手に破棄されていた事件があったが、管理できる土地と施設を整備し、捨てるだけではなく活かす方法を考える教育が必要である。【1件】 ・放課後児童クラブだけではなく、地域の総合型スポーツクラブや文化教室、民間と連携した事業を展開して欲しい。【1件】 ・P70(4)①民族学校の幼稚班ともつながり、互いの研修を実現したいので「…保育所・認定こども園・幼稚園教職員…」を「…保育所・認定こども園・奈良朝鮮幼稚班・幼稚園教職員…」と表記した方が良い。【1件】 ・P70(4)②「…定着、自尊感情や規範意識、社会性…」を「…定着、自尊感情や人権意識や性教育、社会性…」と表記した方が良い。【1件】 ・P70(4)③に「上記を実現するために教職員を増員する」を追加した方が良い。【1件】 ・熱中症対策なども含め、教員に対する研修を必須化・義務化してはどうか。また、録画する等により、閉鎖的空間での部活動無くしていく必要がある。【1件】 ・能力のある人が金銭的理由により海外で学ぶ機会を失ってしまうことは支援すべきだが、誰でも彼でも青少年を海外に派遣することには反対である。【1件】 ・P72(4)⑫「…個々の状況に応じた支援を推進します。」を「…個々の状況に応じた人的支援を配置し、保護者への相談や支援にも応じられるようにします」と表記した方が良い。【1件】 ・こどもたちのスマホ中毒への対応も必要である。代替的に図書館の充実（蔵書数の増加や自習室の設置など）なども行うべき。【1件】 ・SNSがこどもや若者に与える悪影響を検証し、法律や条例で規制して欲しい。また、安易に整形ができるような情報も規制して欲しい。【1件】 ・地域連携の推進は、負担の大きい教員に余裕が生まれることで、質の高い教育が提供できる可能性が高くなり、地域全体が活性化する可能性を秘めている。【1件】 ・P75(7)③「…児童発達支援センター等を中心とした…」を「…児童発達支援センター等では、進学や就職や自立等への…」と表記した方が良い。【1件】	P69(1)⑧「支援していきます。また、当該制度により、希望するすべてのこどもに保育の機会が確保されるよう、市町村や施設等の取組を支援していきます。」と追記しました。 P71(4)⑥について、「こども・若者の健康の保持増進を担う養護教諭をはじめとする学校の支援体制の推進や、健康診断等の保健管理や薬物乱用防止教育や性教育等の保健教育など、学校保健を推進します。」に修正しました。 幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。 頂いたご意見を参考に、障害のあるこどもや医療的ケア児などの特別な配慮を必要とするこどもを含め、一人一人のこどもが学びや遊びを通じてすこやかに成長し、また、子育て世帯の負担感を軽減できるよう、教育、保育等の体制整備に取り組みます。

奈良県こどもまんなか未来戦略（案）の意見募集結果		※共通するご意見は集約して記載し、【】内に意見数を記載しています。	
未来戦略（案）目次		頂いたご意見の趣旨	ご意見に対する考え方
	8. 妊娠、出産、こども、子育てを支える保健医療提供体制の充実【4件】	・「すべての母子」とあるが、父親を含めた状況の把握と支援が必要だと思うので、父親も含めた記載が望ましいと思う。また、父親は知識のスタートラインが母親とは異なることも配慮した支援が必要である。【1件】 ・産後からだけでなく、多胎妊娠が判明してからの支援も充実して欲しい。多胎育児経験者に育児について質問したりする仕組みや機会を作って欲しい。【1件】 ・市町村の区域を超えた広域的な調整に加えて、母児の健康状態に応じて、一次施設から高次施設まで多様な施設で産後ケアを実施できるように調整が必要である。【1件】 ・制度や体制について多言語版を用意して、在日外国人保護者に分かるようにして欲しい。【1件】	母親だけでなく父親も含めたすべてのこども・子育て世帯を対象とした支援が必要なことから、P76 8. (1)「すべての母子を対象とした…」を「すべてのこども・子育て世帯を対象とした…」に修正しました。なお、①の本文中冒頭については、妊産婦に対する母子保健に係る支援という意味を含む表現のため、「すべての母子」という表現を使っています。 P56 5. (1)②「妊娠期から身近な場所で相談に応じ、多胎世帯が抱える課題など多様なニーズに応じた支援につなぐ～」と追記しました。 頂いたご意見を参考に、こどもがいつでも安心して医療サービスを受けられる小児医療体制や、地域の周産期医療体制を確保し、妊娠、出産、こども、子育てを支えることができる保健医療提供体制の充実に取り組みます。
	9. こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり【9件】	・最近では禁止事項の多い公園が多く見受けられるが、キャッチボールや凧揚げ、花火などができる公園が奈良県内にあっても良いのではないかと思う。【1件】 ・奈良県にも家族で楽しめる大規模商業施設をもっと増やしてほしい。【1件】 ・奈良県は道路も狭く古い街並みが多いので、大阪のような街と同じように改革をしても良くなれないと思う。JRまほろば線の伏線化や延伸に注力して欲しい。【1件】 ・若い世代に向けて、主要駅に繋がる高級ニュータウンを整備すれば良い。【1件】 ・こどもや子育て中の方々が、良質な環境で子育てをできるように家を購入できるような支援をすべき。空き家問題も家の購入や建て替えの補助で実施すべき。【1件】 ・何でもかんでも民営化することに反対である。奈良県は新駅設置や公営サービスを充実させ、東京や大阪でなくてもできる、便利で豊かな暮らしをつくっていく必要がある。【1件】 ・J R 和歌山線沿いに住んでいるが、本数が少なく外出自体がままならないのでインフラ整備をしっかりとって欲しい。【1件】 ・乳幼児のバギー、ベビーカー、自転車、車イス、点字ブロック、目の不自由な方々に危険の無いよう、歩道を整備して欲しい。【1件】 ・夏にミストが出る機械を駅やビルに設置して欲しい。【1件】	頂いたご意見を参考に、こどもや子育て当事者の目線に立ち、障害のあるこども・若者や、発達に特性のあるこども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）を推進できるよう、障害の有無等に関わらず、こどもがのびのびと遊ぶことができる空間を創出します。 また、交通アクセスや授乳などの場所を気にすることなく、子育て世帯が外出し、楽しむことができるようなまちづくりに取り組みます。
VIII（施策の推進体制等）に対するご意見【2件】	3. 市町村・民間団体等との連携【2件】	・市町村との連携のことしか書かれておらず、民間団体との連携について記載がない。【1件】 ・民間企業は営利目的であり、儲からなければ急にサービス終了することもある。システムは民間任せにせずに、公共サービスを提供して欲しい。【1件】	「県と市町村が情報共有・意見交換する場を活用し、地域の実情を踏まえつつ、こども施策を推進していきます。市町村の取組状況を把握し、…」を「県と市町村・民間団体等が情報共有・意見交換する場を活用し、地域の実情を踏まえつつ、こども施策を推進していきます。市町村については取組状況を把握し、…」に修正しました。

未来戦略（案）目次		頂いたご意見の趣旨	ご意見に対する考え方
全般に関するご意見【26件】	「こども」の定義について【2件】	・未来戦略での「こども」の定義は何か。 また、日本が批准している子どもの権利条約についても言及すべきではないか。【1件】 ・ひらがなの「こ」と漢字の「子」の使われ方に意味があるのか。【1件】	P1 I 1. 計画策定の趣旨「（※）こども：こども基本法において、心身の発達の過程にある者をいう。」と追記しました。 P41 V2. (1) 四角囲み内「児童の権利に関する条約の精神に則り、こども・若者を、多様な人格を持った個として尊重し、…」と追記しました。 固有名詞及び調査表には「子ども」を使用し、未来戦略の本文は、こども大綱に合わせて「こども」を使用しています。 本県では既存の条例や計画等を除き、「こども」と表記することとしています。P83 VIII. (1) 3行目「子ども・子育て支援」の表記を「こども・子育て支援」に修正しました。
	イラスト等について【4件】	・LGBTQ+や人種の違うキャラクターを登場させたり、服装やランドセルの色、髪の色等はジェンダーを感じさせないよう徹底した方が良いと思う。また、外で遊んでいる元気なこどもや、それを見守る大人が多いが、外で遊ぶより中で遊びたいこどももいると思う。【2件】 ・障害者のイラストが介助者とセットで描かれているのが気になる。実際の障害者は自立している人もおり、全部のイラストがそうだと障害者は介助されるものだというイメージを与える可能性がある。【1件】 ・本文の表紙に装飾や挿絵、写真があっても良いと思う。【1件】	やさしい版のイラストを一部修正しました。
	子育て施策の財源について【1件】	未来戦略とあるのに未来への投資についての記述がないため、財源について明記すべき。【1件】	ご意見として賜ります。
	その他【19件】	・その他のご意見（パブリックコメントの実施目的に沿わないご意見）【19件】	

以上 142件